

2022年10月17日

近畿本部 経営工学部会 2022年10月度定例会・研修会 議事録

日時 2022年10月15日(土) 13:30~16:00
開催場所 WEB開催(Zoom) 28名出席
配信資料 議事進行表、講演資料、今後の部会活動および諸連絡事項
注意事項とアンケートのお願い、出席者名簿
第4回経営工学部会合同専門部会開催のご案内
進行 山口誠

1. 開会挨拶 荒井部会長

- ・コロナ第7波は落ち着きを見せているが、ウクライナ情勢や極度な円安ドル高をはじめ、世の中では混沌とした状態が続いている。
- ・技術士全国大会(10/28~31)の間で、専門部会(10/30)を開催する。現在統括本部で編纂中の「経営工学ビジョン2050補遺版」について、意見交換をしていく。全国の技術士との交流を通して、部会員の良い刺激になればと考えている。
- ・CPD行事としての幅と深みを増すべく、「ディスカッション重視」のスタイルを進めている。これからも学ぶ機会を創っていききたいので、アンケート回答を是非お願いしたい。

2. 参加者の紹介

- ・初参加・新入会 小矢 英孝 技術士 経営工学部門(生産マネジメント)
所用の為欠席

3. 研修会 「車載用円筒形リチウムイオン電池の設計・製造技術と将来の市場動向」

山本 和人(やまもと かずひと) 技術士(経営工学)

詳細は「研修会記録(きんき誌)」を参照ください。

4. 部会活動報告及び諸連絡事項など

(1) 技術士会関係活動実績

9/21(水) 技術支援基礎講座「プロジェクトマネジメント革新」

10/12(水)-13(木) 大阪勧業展2022出展

(2) 今後の主な活動予定

10/21(金)-22(土) 西日本技術士業績・研究発表会(鳥取にて)

10/22(土)-23(日) 「防災推進国民大会ぼうさいこくたい2022」in兵庫

10/28(金)-31(月) 第48回技術士全国大会(奈良・関西)

10/30(日) 2022年第4回経営工学部会合同専門部会 9:30~11:45 WEB+対面

10/12(水)-13(木) 大阪勧業展2022出展 会場:マイドーム大阪展示ホール

11/12(土) 修習技術者発表年次大会(WEB)

11/16(水) 技術士が実施した支援・活性化の事例発表会 WEB:統括本部主催

11/19(土) 私のコンピテンシー発表会

11/27(日) 技術士1次試験

2023年

1/21(土) 近畿本部/新春講演会(大阪科学技術センター)

- 2/1(土) 協賛団体特別セミナー
2/18(土) 倫理シンポジウム(大阪科学技術センター)
- (3) 近畿本部 経営工学部会
12/17(土) 12月 例会&研修会(+忘年会)
ディスカッション:企業内技術士を考える
2023/2/11(土) 2月 例会&研修会
「デジタル現場改善」ベンダーいらずの手作りITツールで品質改善・生産性向上
酒本昌子技術士(経営工学、金属、機械 総監)
(三菱重工業株式会社 GTCC事業部 高砂ブレード・燃焼器製造部 生産技術課)
4/15(土) 4月 例会&研修会

5. 自由発言、その他

(1) 今後の部会活動及び諸連絡事項(荒井部会長)

第48回技術士全国大会 経営工学部門「合同専門部会」

【主催者】統括本部経営工学部会、近畿本部経営工学部会共催

【開催予定日】10月30日(日) 9:30-11:45

【開催形態】ハイブリッド開催(予定)

【内容】

各本部の活動報告(各本部代表者)

講演:経営工学ビジョン2050:2020年補遺版概要の紹介

講演の内容を受け、参加者でのディスカッション

今後の活動へのまとめ(各本部代表者様)

参加料:技術士会会員は無料(WEB、リアル参加とも)

(2) 12月研修会テーマ(古橋氏)

専門領域アンケートで頂いた「企業内技術士のありかた・課題」への関心の声を踏まえ、12月例会では意見交換を行います。事前アンケートにご協力ください。回答は、11月4日(金)までをお願いいたします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc0jBTVJ5_zHmbXvmFvvyP58P_G18DNeqR9kflgMcPd2zQ02g/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0

(3) 業務研究会、経営工学部会の合同で「見学会」を開催(間島氏)

日時:11月25日(金)13時20分から、

見学先:月桂冠、伏見史跡、エスラボ。

見学後、伏見の「咲蔵」(さくら)懇親会を開催予定。

見学会の参加者募集は、10月17日(月)より開始します。

参加者募集URLは後日送付致します。

6. 閉会挨拶

EVにおけるLIB(リチウムイオン電池)を技術面及び、世界シェアの観点からわかりやすい講義をいただき、質疑応答も活発的に行われた。半導体や液晶テレビでイニチアチブを取得できなかった反省を踏まえ、技術士として日本の産業発展にどのような貢献できるか、考えさせられる機会となった。引き続き、12月の例会でも協議して行きたいと考える。

以上